

## 第4学年 国語科学習指導案

ろ組 男子 18 名 女子 17 名 計 35 名

指導者 下 戸 勇 介

### 1 単 元 場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう（教材「一つの花」光村4年上）

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、第3学年の「心に残ったことを、自分の言葉で表そう」の学習で、場面ごとの登場人物の行動や会話から、人物の人柄や気持ちをとらえて読む能力を身に付けている。また、第4学年の「登場人物の人がらをとらえ、話し合おう」の学習で、登場人物の人柄について自分の言葉で考え、進んで伝え合おうとする態度を身に付けている。さらに、特別な言葉に着目して物語を読み、心に残ったことを基に、内容を友達に紹介したいという願いをもっている。

そこで、本単元では、**登場人物の会話や心情表現、人物の行動を表す言葉に着目して、登場人物の気持ちの変化や情景について、自分の経験と関係付けたり友達の考えと比べたりしながら考えを深めたり広げたりする活動**を通して、場面の様子や登場人物の行動、気持ちを表す語句を豊かにしようとするものである。また、登場人物の行動や気持ちについて、場面と場面を比較したり関係付けたりしながら叙述を基に捉える能力や、物語を読んで心に残ったことを基に伝えたい内容を選び友達に紹介しようとする態度を身に付けさせたいと考え、単元「場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう（教材「一つの花）」を設定した。

この学習は、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えるとともに、優れた叙述について自分の考えをまとめ、友達と伝え合う第5学年の「すぐれた表現に着目して、物語のみよくを伝え合おう」の学習へと発展するものである。

#### (2) 指導の基本的な立場

教材「一つの花」は、戦争中、食べるのもままならない生活を送るゆみ子に対する両親の思いが、「一つだけ」という言葉を軸に、人物の会話や行動として表現されている物語である。戦争に関する報道に興味を示しながらも戦争を実感することなく育つこの期の子どもたちが、戦争の悲惨さや平和のよさ、子を思う親の愛情を考えるのに適した教材である。また、場面が戦争中と終戦十年後に区切られており、時間の経過に即して「一つだけ」の言葉がもつ意味を考えることで、物語中の特別な言葉に着目して読む力を高めることができる教材である。

そこで、本単元では、**登場人物の気持ちや情景を捉えさせるために、会話や心情表現、人物の行動に着目させながら読み進める**。また、平和な世界を願って書かれた物語を読み、紹介する文章を書くことを単元の言語活動として設定する。その上で、紹介する文章を書くために、物語をどのように読めばよいか課題意識をもたせ、必要感をもって教材文を読ませることが大切である。

具体的には、まず、「一つの花」を紹介する文章を試しに作り、交流させ、うまく伝わったことや伝わらなかったことを整理させ、紹介する物語の読み方についての課題意識をもたせるとともに、紹介する観点を話し合わせる。また、自分の選んだ物語の並行読書を始めさせる。

次に、**登場人物の気持ちや場面の情景を想像させるために、登場人物の行動や会話、心情表現に着目させるとともに、繰り返し出てくる言葉「一つだけ」の意味について考えさせる**。

さらに、「一つの花」を紹介する見直しの文章を書き、試し作りの文章と比較させ、変容やその理由に気付かせたり、自分の選んだ物語を紹介する文章を書かせ友達の文章と比較させたりして、感じ方の違いに気付かせるとともに、会話や心情表現、人物の行動に着目しながら読むことのよさを実感させる。

これらの学習を通して、様子や行動、気持ちや性格を表す語句を理解するとともに、言葉同士の関係性を問い直して自分の思いや考えを深める力を高め、言葉がもつよさを認識しながら思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付けることにつながる。

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちが、本単元の学習や本教材に対して、どのような興味や関心をもっているかを調査した結果は、次のとおりである。(数字は、人数を表す)

|                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 初発の感想(複数回答)                                                                                                                                                                   |
| ・ゆみ子への反応(20)(父親不在への同情(8)、かわいそう(7)、わがまま(3)、「一つだけ」はかわいそう(1)、「一つだけ」を何回も繰り返す(1))<br>・両親への反応(14)(優しさ(11)、最後のプレゼント(2)、子を心配する気持ち(1))<br>・その他(10)(戦争への恐怖(4)、命の大切さ(2)、感動(2)、既習教材との比較(2)) |
| ② 疑問に思ったこと                                                                                                                                                                      |
| ・ゆみ子への反応(17)(「一つだけ」を言うこと(10)、父親の顔を覚えていない(4)、ゆみ子がお昼を作ること(2)、「一つだけ」を言わなくなること(1))<br>・両親への反応(13)(コスモスを渡したこと(7)、高い高いしたこと(2)、何でもあげる(2)、出征すること(1)、おにぎりをあげたこと(1))                      |
| ③ 作者の伝えたいこと                                                                                                                                                                     |
| ・戦争の大変さ(12) ・わがままはいけない(6) ・平和の大切さ(5) ・物の大切さ(5) ・家族の大切さ(3)<br>・一つでもうれしいことがある(3) ・今は恵まれている(2)                                                                                     |
| ④ 紹介したい内容(複数回答)                                                                                                                                                                 |
| ・戦争の悲しい話(9) ・ゆみ子の口癖(6) ・あらすじ(6) ・感動する話(3) ・わがままはいけない(3)<br>・父親が一つの花をあげる(2) ・ゆみ子の成長(1)                                                                                           |
| ⑤ 物語を読むときに大切なこと(複数回答)                                                                                                                                                           |
| ・人物の気持ち(13) ・場面の様子(5) ・人柄(2) ・会話文(2) ・文章構成(2) ・作者の伝えたいこと(1)                                                                                                                     |
| ⑥ 難語句(複数回答)                                                                                                                                                                     |
| ・配給(18) ・とんとんぶき(17) 防空頭巾(8) 軍歌(7) あやす(6) 勇ましい(4)                                                                                                                                |

多くの子が、戦争というゆみ子の置かれた状況に対して同情する感想をもっている(①)。一方で、家族の愛情や絆への感想は少なく、これは、ゆみ子の置かれた状況とその原因となっている戦争との結び付きへの印象が強いことや、ゆみ子や両親に関する叙述から場面の様子や登場人物の心情を十分想像することができていないことに起因していると考えられる(②)。作者の伝えたいことについては、戦争のこわさや悲惨さ、物や食べ物の大切さだと考えている子どもが多く、①や②と関連して家族の愛情や絆に関する回答がない(③)。よって、異なる場面の叙述や特別な言葉どうしを比較したり関係づけたりしながら場面の様子や人物の心情を十分に想像させたり、場面のつながりを意識させたりすることで、読みが深まると考えられる。紹介したい内容は、中心人物であるゆみ子のことや感想の二つの観点に関するものが多く、観点の広がりが見られない(④)。これは、他の観点での読みの経験が少ないことに起因していると思われる。身に付ける国語の能力として、物語を読む時に大切にしていることを挙げさせたが、場面のつながりを意識している子どもは少ない(⑤)。難語句については、戦争中特有の語句が多く挙げられている(⑥)。

### (4) 指導上の留意点

以上のことから、指導に当たっては、子どもが試しの紹介から課題を見だし、登場人物の気持ちや情景を捉えることができるように、学習内容の設定や指導方法を次のように工夫することが大切であると考えます。

ア 単元・教材への関心を高めさせるために、平和に暮らせる世界を願って書かれた物語や家族の絆を考えさせられる物語の並行読書を行わせる。また、作者が「一つだけ」に込めた思いに気付かせるために、戦争中と戦争後の場面を比較させ、父親の行動や会話、最後の言葉とつなげながら「一つだけ」と言わなくなった理由について考えさせる。

イ ゆみ子の両親の様子や気持ちを読み取らせるために、戦争中と戦争後の場面や人物の様子、一輪のコスモスの花といっぱいになった花など、対比的な表現に着目させる。また、「まるで～のように」という比喻表現に着目させて思いが広がるように読ませたり、「～のでした。」などの文末表現の効果を考えさせたり、接続語や指示後を手がかりに読み深めることができるようにしたりする。

ウ 自分の学習を振り返り、今後の読みへとつなげるために、試し作りの紹介する文章と見直しの紹介する文章を比較させたり、友達と交流させたりすることで、自分の学習の成果に気付かせる。また、本単元で身に付けた国語の能力が今後の学習や日常生活でどのように生かされるか話し合わせる。

### 3 目 標

- (1) 人物の行動や気持ちを表す語句を理解し、話や文章の中で使うことができる。
- (2) ・ 叙述や特別な意味が込められた言葉同士を比較したり関係付けたりして、その違いに気づき、登場人物の気持ちを想像することができる。  
・ 登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて想像することができる。
- (3) 平和に暮らせる世界を願ったり、家族の絆について考えさせられたりする物語を読んで心に残ったことを基に、伝えたい内容を選び、友達に紹介しようとするすることができる。

### 4 指導計画（全9時間）

|            | 思いを連続・発展させる心の高まり                                                                                                                                                                          | 学習課題・学習内容の構造・主な学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 教師の具体的な働きかけ                                                                                                                                                                                                                              |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ・みとおす②  | どの物語を紹介しようかな。                                                                                                                                                                             | <b>1・2 教材との出会い・試し作り・課題解決の見通し</b><br>(1) 教材との出会い<br>・ 教材文に対する初発の感想<br>・ 物語の概要把握<br>(2) 試行（試し作り）・課題解決の見通し<br>・ 『一つの花』の紹介文を書く。（試行）<br>・ 単元の学習課題，単元計画の設定                                                                                                                                                            | ○ 単元や教材への興味・関心を高めたり，学び合いを通して紹介の内容を深めたりするために，並行読書するための物語を教師が選択し，提示する。<br>○ 単元や教材への課題意識を高めさせるために，「一つの花」を紹介する文章の試し作りをし，交流させ，よりよく紹介するための物語の読み方についての課題を明確にさせる。                                                                                |
| しらべる・ふかめる⑤ | 「一つの花」の学習を通して，物語を紹介する内容を考えよう。<br><br>特別な言葉に着目すればよいのかな。                                                                                                                                    | <b>3～6 限定された範囲での試行錯誤</b><br>○ 教材文の読み取り<br>「なぜゆみ子は、『一つだけちょうだい』を初めておぼえたのか。」<br>「なぜお父さんは，めちゃくちゃに高い高いしたのだろうか。」<br>「なぜお父さんは，何も言わずに一つの花を見つめながら行ってしまったのだろうか。」（本時）<br>「なぜ作者は，『一つの花』という題名にしたのだろうか。」<br><br><b>7 試行（試し作り）の見直し</b><br>『一つの花』をしょうかいする文章を書こう。<br>・ 自分の選んだ観点に基づいて，『一つの花』を紹介する文章を書く。（見直し）<br>・ 試行と見直しの変容を確かめる。 | ○ 場面の様子を豊かに想像させるために，特別な言葉である「一つだけ」に着目させながら読ませるとともに，戦争中と戦争後の場面を比較させ，「一つだけ」と言わなくなった理由を考えさせる。<br>○ ゆみ子の両親の様子や気持ちを豊かに想像させるために，対比的な表現や比喩表現に着目させ，感じ方について話し合わせる。<br>○ 読みを深めたり，表現の効果に気付かせたりするために，「～のです。」という文末表現や倒置表現を他の表現に置き換え，読んだ感じを比較し，話し合わせる。 |
| ふりかえる・いかす② | 学んだことをいかにして，自分が選んだ物語を読み直し，紹介する文章を書きたいな。<br><br>書く内容や書き方が分かったから，最初書いた文章よりもっと読んでみたくなったと友達に言われたよ。嬉しいな。<br><br>特別だと思う言葉に着目すると，考えが深まるね。<br><br>特別だと思う言葉に着目しながら，いろいろな物語を読んで考えたことを，日記等に書いて紹介しよう。 | <b>8 広い場面での試行錯誤</b><br>「自分が選んだ物語について，学んだことをもとに読み直し，しょうかいする文章を書こう。」<br>・ 自分が選んだ物語を読み直す。<br>・ 観点を明確にし，紹介する文章を書く。<br><br>物語をしょうかいするためには，登場人物の行動や会話，作者が特別な意味をこめている言葉に着目しながら読むとよい。<br><br><b>9 活用場面の想起</b><br>「学んだことをどのようにいかせるかな。」<br>・ 他の物語を読む。<br>・ 物語を紹介する文章を交流する。                                                | ○ お父さんの行動の理由について，一人一人の感じ方や考え方の違いに気付かせるために，お互いに感じたこと・考えたことやその根拠について比較し，共通点や差異点を明らかにさせる。<br>○ 今後の読みへとつなげるために，並行読書した物語を紹介する文章を書かせ，試し作りの文章と比較したり，他者と交流させたりして，人物の行動や会話，特別な言葉に着目した読みのよさを実感できるようにする。                                            |

## 5 本 時 (5 / 9)

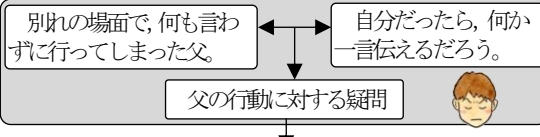
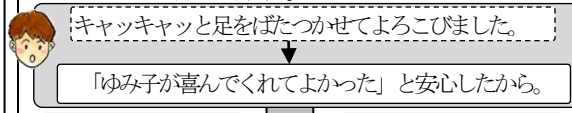
### (1) 目 標

お父さんがゆみ子に一輪のコスモスを渡した理由を話し合う活動を通して、お父さんの心情を表す行動や会話に気付く、出征するお父さんの思いや願いを想像し、心に残ったところを友達に紹介しようといえることができる。

### (2) 本時の展開に当たって

出征するお父さんのゆみ子に対する思いを考えさせるために、「お父さんは、一輪のコスモスにどんな思いや願いを込めてゆみ子に渡したのか。」と発問し、一つの花に込めた思いを考えさせたり、ダッシュの内容を想像させたりする。

### (3) 実 際

| 過程        | 主な学習活動                                                                                                                    | 時間       | 教師の具体的な働きかけ                                                                                                                            |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ・みとめ   | <b>1 本時の学習課題を設定する。</b><br>               | (分)<br>↑ | ○ 出征する前、ゆみ子と話ができる最後の機会であるのに何も言わずに行ってしまったお父さんの行動に気付かせるために、「自分が家族と別れる時、お父さんと同じように何も言わずに別れるか。」と問い、何も言わずに行ってしまうお父さんの思いを捉えることのできる学習課題を設定する。 |
|           | <p>なぜお父さんは、何も言わずに行ってしまったのだろうか。</p>                                                                                        | 7        | ○ ゆみ子の行動に着目してお父さんの心情を想像させるために、「ゆみ子のどんな様子を見て、お父さんは安心したのかな。」と問う。                                                                         |
| しらべる・ふかめる | <b>2 お父さんの行動の理由について想像したことを話し合う。</b><br> | 28       | ○ お父さんの行動や会話に着目させるために、「一つだけでなく、たくさんあげてもよいのでは。」と問い、コスモスが咲いている状況とゆみ子家族の状況に関係付けて考えさせたり、これまでどうやってゆみ子をあやしていたか想起させ比較させたりする。                  |
|           | <p>ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら――</p>                                                                                           |          | ○ お父さんの思いや願いを深く想像させるために、「ダッシュ部分には、お父さんのどのような思いが隠されているのか。」と問い、一つの花に込められたお父さんの思いについて想像し、話し合わせる。                                          |
|           | <p>この一つの花に、きっとお父さんはいろいろな思いや願いを込めているのではないかな。【表現の特徴】</p>                                                                    |          | ○ 紹介する文章を書く材料とするために、本時の学習内容で紹介したいと考えたことについて、ワークシートに書かせる。                                                                               |
|           | <p>「一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」</p>                                                                                     |          | ○ 学び合いのよさを実感させるために、自分の直感とまとめを比較させながら考えの変容に気付かせたり、本時で身に付いた力を振り返らせたりする。また、友達との話し合いを通して、誰のどのような考えや言葉が自分の考えの変容につながったのか振り返らせる。              |
| ふりかえる・いかす | <p>一つの花と同じように一つ命を大切にしたいという願いがあると思う。【表現の特徴】</p>                                                                            | 10       |                                                                                                                                        |
|           | <p>コスモスのように平和な世の中でたくましく生きてほしいという思いをこめて見つめていたのではないかな。【表現の特徴】</p>                                                           |          |                                                                                                                                        |
|           | <p>ゆみ子が喜んでる姿を見て、自分が一つの花に込めたメッセージが伝わったと思い、安心したのだね。</p>                                                                     |          |                                                                                                                                        |
|           | <b>3 学習のまとめを行う。</b><br><p>ゆみ子に将来幸せになってほしいという願いを一つの花に込めて渡し、それを喜んでる様子を見ることができたから。</p>                                       |          |                                                                                                                                        |
|           | <b>4 本時の学習を振り返り、自分や友達のよかったところを話し合ったりする。</b><br><p>〇〇くんは、二つの表現を比べて、その共通点からお父さんの思いを考えていたよ。その考え方も、考えたことも、ぼくの参考になったよ。</p>     |          |                                                                                                                                        |

